

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 28年 7月 7日			
所属学部・研究科	文学部/研究科 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ネバダ大学リノ校 (国名: アメリカ)			
所属学部・学科等名	文学部 人文学科			
在籍身分	Under graduate			
留学期間	平成 27年 8月 17日 ~ 平成 28年 5月 20日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: J1			
	ビザ申請先: 大阪			
	取得方法, 提出書類: パスポート、DS2019、成績証明書、面接確認書、DS-160			
	手続きに要した日数: 二週間			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 2015年 8月 16日			
経路	成田、サンフランシスコ、リノ			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無 インターナショナルハウスマネージャー			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	二日間のオリエンテーションが行われた。			
帰国年月日	平成 28年 5月 28日			
経路	リノ、サンフランシスコ、成田、中部国際空港			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	145万	円	
	内訳	渡航費	30万	円
		保険料	17万	円
		教科書代(学費)	2~3万	円
		宿舍費	60万	円
		食費	20万	円
		その他 ( 娯楽 費)	15	円
( 費)		円		
( 費)		円		
<b>3. 授業について</b>				
2015年秋学期	8月 23日 ~	12月 16日		



留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	現地の人は冷房で部屋をキンキンに冷やすので、気温調節の面で気を使ってください。あとはルームメイトが風邪をひくと、自然と風邪をもらうことがあるので予防はしっかりしておくとういと思います。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
アメリカは気を付けていけば決して危険な国ではないと思いました。少なくともリノは比較的安全な街だと思います。ただ夜一人でダウンタウンなどに出歩かないことなど、自分の身は自分で守るという意識が必要です。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
クレジットカードは念のために三枚もっていきましたが、一枚でも大丈夫だったと思います。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 29 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 29 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4 年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	アメリカの大学院への進学を目標としています	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫		
<b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
健康第一です。しっかり食べて、しっかり寝てください。慣れるまでは自然と緊張していると思うので、ストレスをためないように自分のケアをしっかりしてください。あとは思う存分楽しんでください。無駄にしている時間はありません。		

## 学習に関するレポート

Fall Semester	Spring Semester
English113	English114
American History	Women's' Studies
East Asia History	Economic
English Speaking	Aerobics
English Listening	Linguistics

留学生はセメスターが始まる前に英語のテストを受けます。リーディング、スピーキング、ライティング、リスニングの四技能です。そのテストに応じて英語の授業をとることを勧められることがあります。私の場合はスピーキングを受けることを勧められました。また秋学期は英語をしっかり勉強したいなという思いもあり、リスニングの授業もとることにしました。ライティングに関してはスコアがよかったため **English113** と **English114** という授業を取りました。こちらに関してはどのようにエッセイを書くのかからしっかりと学ぶことができたのでお勧めします。

私は比較的自分の専攻に関係なく、私の興味がある、おもしろそうだと思う授業を取りました。運動したいと思っていたので、サイクリングのクラスをとったりして息抜きも兼ねて楽しむことができました。最初の頃は教授の英語が聞き取れなかったりしてくじけそうになりますが、しっかりと耳を傾けていればだんだんと耳が慣れてきて理解できるようになると思います。わからないところはオフィスアワーなどを利用するといいです。ライティングセンターもとても充実しているので、エッセイの課題があるときはよく利用していました。図書館もパソコンや机がたくさんあり、朝の7時半から夜の1時まで開いており、とても充実していて勉強しやすい環境です。課題に関してはマイ授業ごとにリーディングの課題が膨大な量であったり、毎週のようにエッセイを書かなければならなかったりして、日本にいた時よりも勉強していたと思います。私は一人ではだらけてしまうのでよく留学生の友達と一緒に勉強したり、息抜きに散歩したりしていました。オンオフをしっかりとすることが大切だと思います。

## 生活に関するレポート

住居に関して、私はアルジェンタホールという寮に住んでいました。部屋は三人部屋で、シャワーとトイレ、洗面台、エアコンなどが設備されていました。アルジェンタホールは UNR の中の寮で一番規模が大きく、まさに大学の寮という雰囲気が漂っています。一回には食堂があり便利です。各階に談話室、ランドリー、スタディールームがあります。私の場合ルームメイトとは非常に仲良くなり、クリスマスや、サンクスギビング、冬休みに実家にお邪魔させてもらい楽しく過ごすことができました。現地の学生と仲良くなれる、現地の文化に直接触れられるいい機会だと思います。ただし友人に聞くと当たりはずれがあることもあるので、そこは運なのかもしれません。寮は冬休みに一か月間閉まってしまうので、旅行をしたり、インターナショナルハウスを借りたり、シエラホールという寮が一つだけ冬休みでも空いているので、そこに移るのも選択肢のうちの一つです。私は一か月間旅行するほど金銭的に余裕がなかったため、シエラホールを借りました。部屋をシェアすることはプライバシーが確保されないという一面、楽しい面もたくさんありますのでぜひ検討してみてください。またインターナショナルハウスもいつもワイワイとしていて楽しそうだと思います。

食に関してはアルジェンタホールの一階にある DC という食堂を週に 10 回利用していました。buffetスタイルなので食べすぎに注意です。一年を通して、肥えてしまった友人を数名見かけました。キャンパス内にも食事をするところはたくさんあり、困ることはないと思います。週末や放課後は、友人とダウンタウンのカフェに行ったり、レストランを巡ったりしました。世界中の料理がアメリカには集まっています。食べたことのないような料理を口にできます。ダウンタウン、ミッドタウンなどに繰り出していくことをお勧めします。隠れ家のようなレストラン、カフェに出会うことができます。

衣に関して。私が行った年はたくさん雪が降りました。リノの気候は現地の人でも読めないそうです。四月にも雪が降ったりしました。ショッピングモールも二つあり、服は向こうで買い足すことが可能です。私はよくミッドタウンにある古着屋さんを利用していました。また砂漠地帯なので昼夜の気温差が激しいです。夏は現地の人にはクーラーをガンガンに回します。体調管理には気を付けてください。

余暇は主に友人と遊んでいました。ハイキングに行ったり、ピクニックをしたり、ご飯に行ったり、旅行に行ったり、とても充実した留学生活を送ることができました。

アルジェンタホール↓



Lake Tahoe

